

SCOM社の上海万博向け高可用 交通ビデオ監視システム構築にNECが協力



2010年4月
NEC 中国

案件背景—万博向けサービス、スムーズな交通の確保

上海万博会期中のスムーズな交通を保証するため、上海通信技術センター社は上海鉄道交通の2, 5, 6, 7, 9, 11, 13号線のビデオ監視システムを新規構築・改善した。システムは、中央のビデオ管理サーバと、ネットワーク状に分布したビデオ機器から構成される。

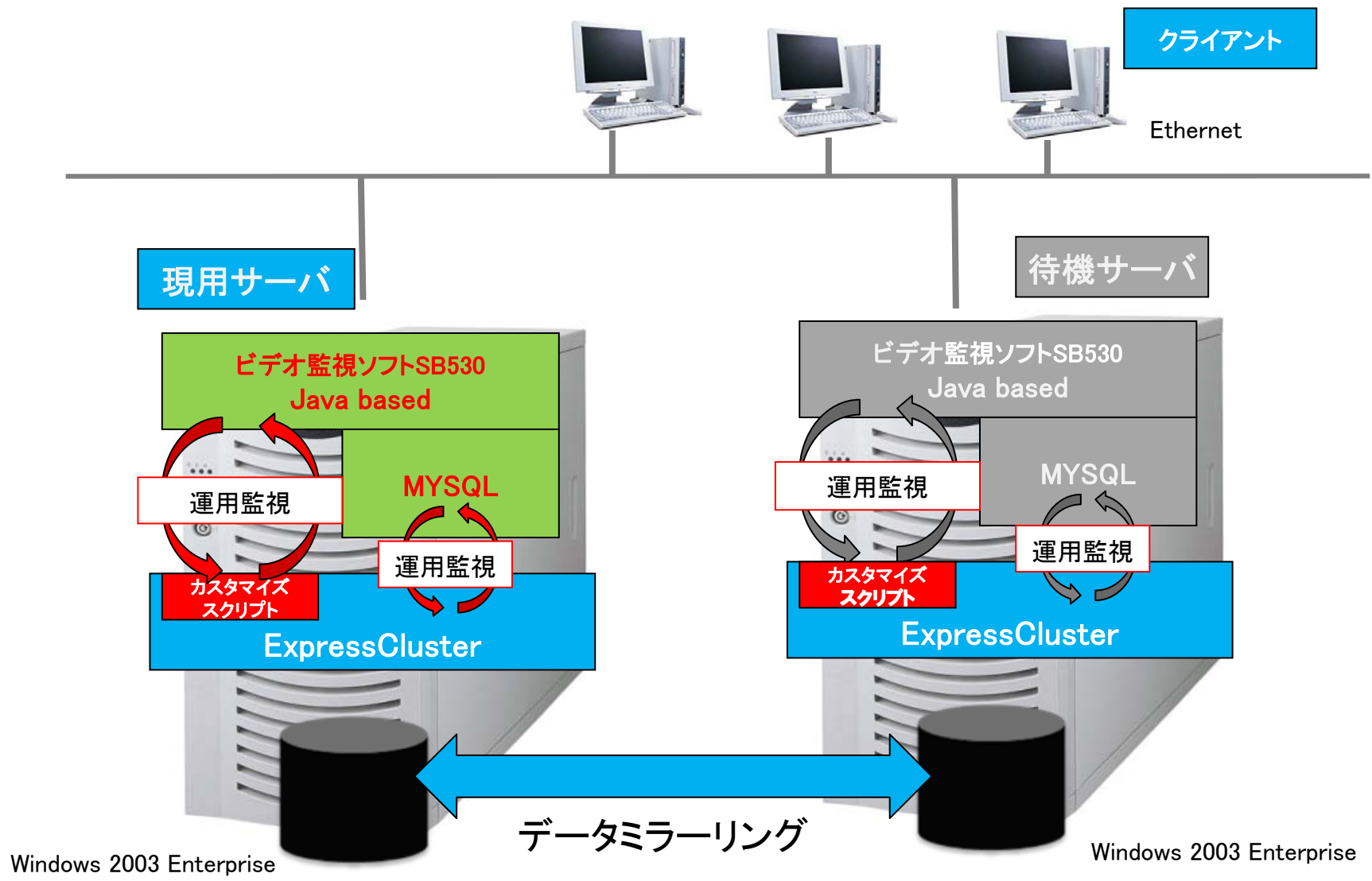
ビデオ監視管理ソフトウェアSB530はシステムのコアであり、安定性と可用性へのニーズが非常に高い。

SB530は上海通信技術センター社製のJava、MySQLベースの先進的なビデオ監視管理ソフトウェアである。

Javaベース開発のアプリケーションは、これまで高可用クラスタソフトウェアによる保護が難しいという特徴があった。

NECは、ExpressClusterの提供する柔軟なスクリプトインターフェースを用い、SB530との完璧な融合を実現した。バックエンドのMySQLデータベースからフロントのSB530までをまとめて、完璧な高可用クラスタ保護構成を実現した。

デジタルビデオ監視管理システム高可用クラスタ構成図



ソリューション説明

1. 現用・待機系サーバには共にビデオ監視システムとExpressClusterを設置。
2. ExpressClusterによってMySQLの起動と停止をコントロールし、運用状態を監視。
3. ExpressClusterのカスタマイズスクリプトの実行によって、ビデオ監視システム(Javaアプリケーション)の起動と停止をコントロールし、運用状態を監視。
4. ExpressClusterによって現用・待機系サーバのデータミラーリングを実現し、ミラーリングの状態を監視。
5. OS、AP、DB、NW等、どこに障害が発生しても、即時にフェイルオーバー実行。
6. 故障時の切替時間はわずか30秒、HAクラスタ製品中最短。
7. カスタマイズスクリプトによってビデオ監視システム(Javaアプリケーション)の保護を実現。
8. リアルタイムミラーリング機能により、2台のサーバのミラーパーティションへの確実なMySQLのデータストアをサポートし、データの安全性とシステムの可用性を向上。
9. 差分回復機能により、故障回復時には、現用・待機系サーバの相違部分のみをコピー。ディスク故障時の回復時間を数時間から数秒へ短縮。

上海通信技術センターについて

■ 上海通信技術センター(略称SCom)は、1998年7月に成立し、資本金900万USDであり、上海漕河泾ハイテク開発区に拠点を置く。

■ Scom社は、デジタル画像等領域の自主研究と開発に注力し、10年以上の画像デジタル技術製品の研究開発に従事した経験を持つ、上海市認定の企業技術センター、およびハイテク企業である。

■ 現在、Scom社は中国国内の鉄道交通デジタル画像ビデオ監視システムコーデック製品市場国内最大シェアのベンダであり、デジタルテレビブロードキャスティング、高速道路デジタル画像監視等の領域においても主要なベンダである。製品はヨーロッパ、アメリカ、東南アジア、中東など50の国と地域へも出荷している。

Empowered by Innovation

NEC